

# 消費税増税は中止を

## 兵庫県商工新聞

編集委員会  
兵商連新聞編集委員会  
発行  
兵庫県商工団体連合会  
〒652-0811  
神戸市兵庫区新開地4-4-12  
☎ (078) 341-0563(代)  
FAX (078) 341-0885  
http://www.hyoshoren.co.jp/  
Email: info@hyoshoren.co.jp

2018年3月  
第307号

### 何としても阻止しよう

片山正久さん（家電販売） 「兵庫民商」

消費税は、1989年4月に3%で導入され、1997年には5%、2014年には8%、来年10月には10%へと増税されようとしています。

元々、消費税は社会保障に充てる目的で導入されましたが、今では大企業の減税の補填に使われ、本来の目的を逸脱しています。

私も含め、多くの業者が赤字でも、転嫁できなくても、身銭を切って消費税を納めているのが現実で、まさに「営業破壊税」です。税率10%に加え、名ばかりの軽減税率による複数税率、合わせてインボイス制度の導入



とすれば、煩雑な記帳実務、免税業者の取引排除により、多くの仲間が廃業へと追い込まれてしまいます。

今、集まって話し合い、学習し、団結して何としても阻止しなければなりません。税の集め方・使い方を改めさせ、消費税に頼らない仕組みをつくるのが大切です。

例えば、年々増える軍費、不要不急の大型公共事業などを大幅に減らすこと、また、内部留保を溜め込む大企業に自分の負担を強いることで社会保障は十分にまかなえません。国政を私物化し、国を地をお友達に格安で融

### 消費税で商売をつぶすな

砂原政好さん（建築塗装） 「尼崎民商」



安倍政権は2019年10月から消費税を10%に引き上げると言っています。合わせて軽減税率とインボイス制度を導入しようとしています。

私は建築塗装を42年間やっています。現在は娘と二人で、応援の職人さんにも手伝ってもらいながら仕事を続けてい

通するなど、許せません。消費税増税は、所得が低い庶民の消費を一気に冷え込ませ、さらに格差と貧困を拡大させます。

国民の懐をあたため、地域経済を支える中小業者を元気にしてこそ、地域が再生します。

民商の仲間のみなさん、「平和でこそ商売繁盛」をモットーにし、すべての国民が健康で安心してくらせる社会の実現に向けて頑張ってくださいませ。

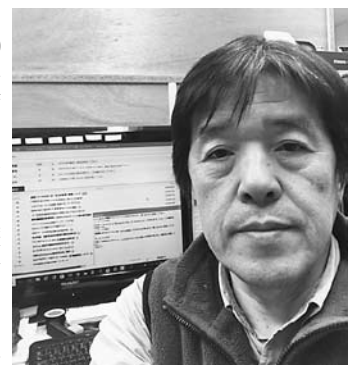
消費税は身銭を切っ払っています。自分だけでもうかれれば良いと言う商売はしたくありません。

消費税が10%になったらどうなるでしょう。単価を上げたくないけれども、値上げしなければ商売をやっていけないでしよう。苦しい選択をしなければなりません。インボイス制度は、横文字で意味不明です。日本語で、商人にわかる言葉で説明して欲しい。

10年余りの間、楽天市場、Amazon等で海外からの輸入品の販売を行っています。扱っている商品はスマホアクセサリー、天然石アクセサリー、ファッション雑貨と食料品です。

消費税が10%に上ると、前税率が8%に上がった時と同様に猛烈な買い控えが考えられます。

ネットでの販売は、通常時でも商品の良さをアピールしてもなか



### キッパリ増税中止を

石田 満さん（輸入品販売） 「須磨民商」

10年余りの間、楽天市場、Amazon等で海外からの輸入品の販売を行っています。扱っている商品はスマホアクセサリー、天然石アクセサリー、ファッション雑貨と食料品です。

消費税が10%に上ると、前税率が8%に上がった時と同様に猛烈な買い控えが考えられます。

ネットでの販売は、通常時でも商品の良さをアピールしてもなか

## 税金は国民のために使え！

### 第49回 3・13重税反対全国統一行動に参加しよう

3・13重税反対全国統一行動は、重い税負担と過酷な徴収に反対し、納めるべき税額は自分で計算し、申告するという申告を続ける一方、国民には社会保障の改善と生活費にまで税金をかける仕組みで、庶民いじめを強めています。消費税増税中止。あなたも行動に参加しましょう。

地域	月日	会場
川西	3月13日	川西市文化会館
伊丹	3月6日	スワンホール大ホール
尼崎	3月13日	橋公園
西宮	3月14日	西宮フロンテホール
宝塚	3月12日	キッピモール講義室
三田	3月14日	芦屋市民センター 203
芦屋	3月13日	魚崎西町会館
東灘区	3月13日	灘区民ホール
灘区	3月13日	中央労働センター大ホール
中央区	3月13日	湊川公園
兵庫区	3月13日	長田神社境内
北区	3月13日	下中島公園
長田区	3月13日	垂水年金会館大ホール
須磨区	3月13日	明石公園（東芝生広場）
垂水区	3月13日	美藝川河川敷
西区	3月13日	社公民館
明石	3月13日	西脇市総合市民センター視聴室
三木	3月13日	金剛寺浦公園
はりま中央	3月13日	鍛冶屋公園
北はりま	3月13日	たつの市青少年館ホール
加古川	3月13日	相生市総合福祉会館
高砂	3月13日	豊岡・卸団地会館
姫路	3月13日	和田山駅前公会堂
播磨中央	3月13日	柏原自治会館
赤穂	3月13日	民商会館
相生	3月13日	
北但馬	3月9日	
南但馬	3月13日	
丹波	3月13日	
淡路	3月13日	

※時間などの詳細は各地の民商へ



これ以上の消費税増税は、経営を悪化させるだけです。何としても阻止しましょう。

またインボイス制度の導入で、食料品は今の倍以上に複雑な税率計算になり、私の様な中小の事業者は「労多くして益少なし」状態が延々と続く気がします。

ネットでの販売は、通常時でも商品の良さをアピールしてもなか

▼3月3日は、ひな祭り。母方の祖父母から贈られた雛人形を飾り、女兒の成長や幸せを家族みんなで願うとされている▼雛人形は元々、「上巳の節句」の際に、草や藁で作った人形（ひとがた）で体を撫で、穢れを移したものを川に流すことで厄払いとされていた行事と、貴族階級の女兒が行っていた紙の人形のおままごと遊びである「ひいな遊び」が合わさって生まれたものだとされている。今やひな祭りは国民的行事に▼美家の押入れにガラスケースが壊れたお雛様が大切にしまっていた。両親が私の子どもができた時にくれたもの。23年前の震災でガラスケースが壊れ無残な姿に。当時は子育て中でお雛様がどうなったかまで憶えてなかったが、実家にあつたとは。今年に間に合わなかったが、来年までに修理をお願いし、3人姉妹の孫に渡そうかと▼引き継がれる伝統、引き継がれる思い。時代はかわり、希薄になりがち。次世代に伝えたいことをしっかりと話しておく。これが私たちの務め。（N）





# 高すぎる国保料(税) 払いたくても払いきれない

国保法第1条は、社会保障としての公的保険の役割を謳っています。国は自助・共助を強調し、国庫負担金を削減しています。

今年から国保の保険者は都道府県と市町村の共同運営に変わります。この真の狙いは、都道府県に財政を集中させることで、権限を都道府県に持たせ、医療費削減を強めることとです。また、都道府県が決めた納付金は100%納付が義務付けられるため、市町村は取り立てに駆り立て

られ、徴収強化につながります。兵庫県は当分の間、地域の状況を勘案した納付金を提示するとしています。が、近い将来、県下一律になることは否めません。また、所得がない被保険者からも保険料(税)がとれるよう、均等割・平等割の引き上げが明確です。

三木市 国保料引き上げやめて!!

三木市の国保料	国保料削減率	国保料削減額
国保料	5.3%	24,000円
国庫負担金	19.500円	19,500円
国庫負担率	44.000%	44,000円
国庫負担率	2.1%	2,100円
国庫負担率	2.3%	2,300円
国庫負担率	6.000%	6,000円
国庫負担率	9.000%	9,000円
国庫負担率	19.000%	19,000円

## 平和と憲法を守ろう

### 3000万人署名で いのちと平和と生活を守ろう

兵庫県憲法共同センター代表 津川知久

「憲法をいじるより、いまの生活を何とかして欲しい」。これは子どもからお年寄りまで99%の人の思いです。ところが彼は聞く耳を持たない。「真摯に」とか「丁寧に」を

連発するけれど、その姿勢を示す相手は国民ではないのです。今、ひらかれている通常国会の施政方針演説で安倍首相は「五十年、百年先の未来を見据え」憲法改定の議論

を深め前に進めることを呼びかけました。誰よりも憲法を擁護し尊重する義務を持った人間が言うてはならないことです。しかもなぜ今の憲法が都合なのかひと言も言わない。それは国民のいのちと生活に「真摯」ではないことを重々承知しているからです。



無理が通れば道理引っ込むではありませんが、9条の明文改憲は、25条II健康で文化的な生活をする権利

や21条II表現の自由など人権条項の壊憲に直結します。自民党の改憲案に9条改定だけでなく「緊急事態条項」新設も入っているのは、国民



憲法25条集会で国保発言する村上健次副会長

徴収強化では、「債権回収課などに警察OBを配置」「タイヤロックで車を差押えた」などの自治体もあり、怒りがわくばかりです。ほっておくのではなく、特別の事情など、実態を話し、まず保険証を交付させる。

減免申請・確定申告など申請し、保険料(税)を引き下げる。払い切れない国保料(税)は、納税緩和措置を適応させるなど、仲間の知恵と力を結集し「生きる」とが優先するたたかいが求められています。

## 自治体へ要請しよう

三木民商では、新日本婦人の会と年金者組合の3団体で「これ以上の国保料引き上げは中止を」と、1月24日に要請。翌日の国保運営協議会を傍聴しました。協議会に示された「改正案」は、県が示

した「標準率」に対し、「激変緩和措置をおこなう」とのこと。しかし、市による試算では1割前後は増加し、世帯あたり数万円の値上げとなります。(上・ニュース参照)

神戸市では、加入者の人数に応じて決める均等割の割合が昨年より高くなり、家族が多い世帯へ負担が集中。市は激変緩和措置で上昇率の上限を設定する計画ですが大変です。今でも高すぎて納めきれない国保料(税)。地域の諸団体と共に、自治体への働きかけを強め、引き上げをストップさせましょう。

## カニカニツアーで満腹【灘民商】



1月21日、灘民商恒例の「カニカニツアー」が催され、20人が参加。このツアーは灘民商青年部の主催で、広く民商会員にも参加を呼びかけました。

チャーターバスで昼過ぎに但馬民商会員の七釜荘に到着し、新鮮な刺身、カニしゃぶ、焼きガニ、カニ雑炊など、おなか一杯に堪能。

青年部員の参加は5人でしたが、たらふく食べたあと経験ある会員とゆっくり話したり、痛風持ちなのに決死の覚悟でカニ味噌を食べ、それも余った分まで食べたりしている青年部員もいました。近隣の温泉施設で汗を流したり、自由にカニカニツアーを楽しみました。(灘・荒木通信員)

自主計算班会がたけなわ。その中でみんなが驚くのが、来年予定の消費税増税。また、複数税率による記帳の複雑さ。さらにインボイス制度と中小業者が悲鳴を上げることになり。消費税増税中止の声を大きくしよう。(Y)

## 経営情報



教育費の負担が家計を直撃しています。就学援助制度は小・中学生がいる家庭に学用品費や学校給食費など憲法26条「義務教育の無償化」に基づいて補助する制度です。入学準備金の増額、入学前支給など改善が図られています。教育費のご相談は民商へ。

## 私の商売ものがたり

NO.182 清原英昭さん(43才)  
(飲食) 姫路民商



「開業してよかった」と思えた瞬間でした。また、スタッフにも恵まれた10年でした。飲食店が軒並み廃業するなか、地域とお店の連携も大事になってくる時代です。これからも地域に愛されるお店をめざし、頑張っていきます。

居酒屋 しゅうまつや  
〒672-8051 姫路市飾磨区 清水2-5  
☎ 079-234-0890